

宮城県宮城第一高等学校 2017. 12. 19 発行

# 秋 桜 通 信

The Most Brilliant Senior High School

生徒一人ひとりが輝く高等学校を目指します



## 祝 本校創立120周年記念 特集

写真は記念事業式典しおり，記念誌，クリアファイル，トートバッグ等



平成29年11月10日（金），晴天の下で，東京エレクトロンホール宮城を会場として本校創立120周年を記念した『記念式典』が挙行されました。御来賓の方々，同窓生・保護者・学校関係者の皆様，在籍生および職員合わせて1000名以上が参加した盛大な記念式典となりました。御臨席いただいた皆様方，本当にありがとうございました。

今後とも変わらぬ御支援，御協力をお願いいたします。



**記念式典**は午後1時からオープニングが始まり，

箏曲部（千葉美緒さん）による演奏&合唱部による美しいコーラスがあり，開会のムードが大いに盛り上がりました。最初に記念事業の実行委員長である工藤千鶴子同窓会会長より挨拶がありました。

続いて，本校の庄子校長から式辞がありました。「本校の開校は全国的にも極めて早く，全国では20番目，公立では13番目とされています。それから，120年。この長い年月，本校は県内の中等教育の中心校として，先輩方がそれぞれの時代の中で築きあげた伝統を守り，新しい時代における体験から学び，生み出された新たな伝統を包含し，発展を続けて参りました。卒業生も31800名を数え，同窓生は，地域に根ざした活動からグローバルな活動まで，様々な幅広い領域に渡って活躍されています。また，同窓生の皆さんからは，異口同音に，本校で学び，本校で青春時代を過ごしたことを誇



りに思うとの声を頂戴しております。」と振り返ると同時に、「これからの10年、20年、そして50年先、百年先を生きる宮一生に期待します。生きる力を鍛え、考える力、即ち情報収集力、理解力、判断力、想像力、決断力を身につけ、行動力を高めてください。可能性への挑戦は若者の特権です。諸先輩の活躍を鏡として、胸に秘めている希望、目標に果敢に立ち向かってください。」と庄子校長は在校生に熱いメッセージを伝えました。

次に、宮城県教育委員会の高橋仁教育長からの祝辞が、同理事兼教育次長の西村晃一様から代読され、



暖かい祝福とエールをいただきました。さらに、工藤委員長より、前同窓会長、歴代校長・PTA会長・校医に感謝状が贈呈されました。また、生徒代表の学友会会長の川村百花さん（普通科2年次）が、「私は宮一生であることを誇りに思います。そして、本校の伝統を受け継ぎながら、より良い学校にするために必要な改革を行い、それをまた、次の代に継承していきたいと思います。」と力強く挨拶で述べました。

司会は、本校2年次PTAの仙台放送アナウンサーの佐藤拓雄さんとフリーアナウンサーで、本校卒業生の佐藤明子さんご夫妻によるものでした。厳粛な中にも和やかな雰囲気を醸し出す進行で、その絶妙なトークも大変好評でした。



**記念講演** 式典後に、観世流シテ方能楽師の新井麻衣子氏（本校52回卒業生）による「出会いは人生を変える～能との出会いと、私の人生」と題した記念講演が行われ、新井さんの人生に大きな影響を与えた能、そして様々な人々との出会いについて語っていただくとともに、御本人による舞の披露、さらには本校生徒を舞台に上げての「能講座」も見せていただきました。



○記念式典と記念講演の様子は詳しくはぜひ本校HPをカラーでご覧ください。